

2025 年 06 月 10 日（火）【外為 L a b】松田哲

タイトル：【ユーロの政策金利】

ユーロの政策金利の推移を時系列で並べてみます。

つまり、E C B 理事会を振り返ります。

+++++

昨年 3 月（2024 年 3 月 7 日）の E C B 理事会では、政策金利据え置きを決定した。

4 会合連続での政策金利据え置き。

インフレ基調は鈍化するものの、賃上げ圧力の高まりから当面も粘り強く金融引き締めを続けるとした。

+++++

昨年 6 月（2024 年 6 月 6 日）の E C B 理事会では、政策金利を 0.25% 引き下げる、と決定した。

中銀預金金利を過去最高の 4.0% から、3.75% に引き下げた。

利下げは 2019 年 9 月以来、4 年 9 カ月ぶり。

+++++

昨年 7 月（2024 年 7 月 18 日）の E C B 理事会では、事前予想通りに、政策金利据え置きを決定した。

ラガルド E C B 総裁は、次回（2024 年 9 月）の E C B 理事会については、何も決まっていない、と述べた。

+++++

昨年 9 月（2024 年 9 月 12 日）の E C B 理事会では、政策金利を 0.25% 引き下げる、と決定した。

中銀預金金利を 3.75%から、3.50%に引き下げた。

+++++

昨年 10 月（2024 年 10 月 17 日）の E C B 理事会では、政策金利を 0.25%引き下げる、と決定した。

政策金利引き下げは、2 会合連続。

中銀預金金利を 3.50%から、3.25%に引き下げた。

+++++

昨年 12 月（2024 年 12 月 12 日）の E C B 理事会では、政策金利を 0.25%引き下げる、と決定した。

政策金利引き下げは、3 会合連続。

中銀預金金利を 3.25%から、3.00%に引き下げた。

+++++

今年 1 月（2025 年 1 月 30 日）の E C B 理事会では、政策金利を 0.25%引き下げる、と決定した。

中銀預金金利を 3.00%から、2.75%に引き下げた。

この利下げは、事前予想通り。

+++++

今年 3 月（2025 年 3 月 6 日）の E C B 理事会では、政策金利を 0.25%引き下げる、と決定した。

中銀預金金利を 2.75%から、2.50%に引き下げた。

この利下げは、事前予想通り。

緩和局面は終わりに近づいていると示唆した。

+++++

今年 4 月（2025 年 4 月 17 日）の E C B 理事会では、事前予想通りに、政策金利を 0.25% 引き下げる、と決定した。

中銀預金金利を 2.50% から、2.25% に引き下げた。

利下げは 6 会合連続で、過去 1 年間で 7 回目。

決定は全会一致。

E C B は、トランプ米大統領の関税措置で、ユーロ圏の経済成長が、大きな打撃を受ける可能性がある」と警告。

理事会後のラガルド E C B 総裁のコメントは、以下の通り。

「異例の不確実性によって経済見通しは不透明」

「ユーロ圏の輸出が鈍化し、経済成長の下押しにつながる可能性が高く、これにより投資と消費も減退する恐れがある」

これらのコメントから、E C B が今後も追加利下げを実施していくとの見方が強くなった。

+++++

今月（2025 年 6 月 5 日）の E C B 理事会では、事前予想通りに、政策金利を 0.25% 引き下げる、と決定した。

中銀預金金利を 2.25% から、2.00% に引き下げた。

利下げは、過去 1 年間で 8 回目。

今回の利下げで、金融緩和を一時停止する可能性を示唆した。

+++++

+++++

（2025 年 06 月 10 日東京時間 12：45 記述）